

新庁舎の特徴

災害に強い、安全安心な庁舎に生まれ変わりました。

- 大地震による倒壊や損傷を防ぐ**免震構造**としました。
- 台風や集中豪雨による浸水を防ぐため、1階の構造を鉄筋コンクリート造として水圧に耐える強固なものとしています。また、1階の床レベルを地盤レベルより約1m高くしています。さらに、出入口には、防水板を設置できるようにするなど、さまざまな備えをしています。
- 災害時の電力確保として、異なる変電所からの受電（2回線受電）や、屋上に非常用発電機を設け、電力喪失の際にも備えています。



免震装置



防水板



非常用発電機



浸水に耐える外壁

環境にやさしい庁舎に生まれ変わりました。

- 脱炭素社会の実現に向け、省エネルギーに優れた地熱を利用した空調機器、照明機器の採用などにより、埼玉県内の庁舎では初めてZEB Ready(※)の認証を取得しました。

※ZEB Ready…快適な室内環境を実現しながら、消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物（ZEB：Net Zero Energy Building〈ネット・ゼロ・エネルギー・ビル〉の略称）のうち、省エネで基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物



太陽光パネル



省エネ照明



地熱利用



発電量を見える化

便利な庁舎に生まれ変わりました。

- 新庁舎に**保健センター**（休日診療所含む）を合築し、**一度に手続きが完了**します。
- 各種申請・届出など書かない窓口を開始します（令和6年1月4日より順次開始予定）。
- ゆとりある待合スペースを設けました。
- 子育て関連の窓口に近接した場所に、子育て親子が一緒に遊べるキッズスペースを設けました。
- 子ども連れの利用が多いエリアに授乳室を設けました（全3カ所）。
- 各階に多機能トイレとオールジェンダートイレを設置しました。



保健センター



ゆとりある待合



キッズスペース



オールジェンダートイレ

さまざまな活動の場となります。

- 新庁舎には、市民の皆さんのさまざまな活動に活用していただくことができる「サークル広場」を整備しました。
- サークル広場の周辺には、軽い運動などができる「多目的室」や保健センターの事業を実施する「保健指導室」、料理教室などを実施する「栄養指導室」を配置しました。
- これらの部屋とサークル広場を連携して使用することも可能であり、市民の皆さんの活動の幅が広がります。
- 「サークル広場」「多目的室」「保健指導室」「栄養指導室」は貸出しを予定しています（令和6年4月以降を予定）。



サークル広場



多目的室



保健指導室



栄養指導室